

今からできる基本的なコロナ予防

～「検査が『陰性』でも『感染予防』が大切です」～

2020年末、帰省や旅行前の検査で「**陰性だった**」人から、帰省先・旅行先の家族・友人に**感染がひろがり**ました。

たとえ無症状でも、陰性でも、感染していないということの保証にはなりません。会話をするときにはマスクなど飛沫を飛ばさない工夫、距離をとる等の感染予防がとても大切です。

！？ 感染リスクが高い行為



▼ マスクなし／口元をバリアしない会話

▼ お酒を飲む（声が大きくなり飛沫がとびやすい）

▼ 人数が多い（2人より3人、3人より4人…声が大きくなりやすく、飛沫が飛びやすい）

▼ 換気が悪い

▼ 同じ車に乗って会話

▼ 近い距離での会話（屋内・屋外問わず）

～ 飛沫を飛ばさない・減らすための【4つ】の基本的対策 ～



～空間バリア～
アクリルパネルなど
パーテーション



～口元バリア～
ハンカチ・扇子など



～距離をとる～
人数を減らす・座る位置の工夫



～換気～
窓・ドア、空調
サーキュレーター

▶ 裏面もあります

作成 みなと保健所 03-3455-4461※
※ 平日 8時30分～17時15分まで

監修 堀 成美（港区感染症専門アドバイザー）



～よくある質問～

1

検査結果が「陰性」なのに
感染している可能性があるのはどうして？

① タイミングの問題

⇒ 早すぎて判定できなかった可能性があります。

② ウイルス量の問題

⇒ 基準量に足らず、判定できなかった可能性があります。

③ 検査の検体の問題

⇒ 唾液を取る前にうがいや歯磨き・飲食をした、時間や温度管理などの理由があります。



2

自分の感染が分かった場合、マスクなしで
会話をした家族や友人はどうなるのか？

① まずはご本人から早めに連絡をして家庭内の感染予防を開始

⇒ 居住地の保健所からご本人に今後について説明をしていますが、感染者が増えると連絡に時間がかかる場合があります。

② 検査の計画、自宅待機のための予定の変更

⇒ 感染の可能性がある人は、検査で確認をすることができます。
「感染者とマスクをせず会話した」こと等を伝え受診してください。
医師が感染リスクありと判断した場合、検査の費用は発生しません。
※初診料等のみ自己負担



③ 検査を受けない場合も、体調が悪くなったら感染・発症の可能性を 考えて医療機関を受診して相談をしてください。

④ 検査結果が陰性であっても、感染していないと言い切れないため、 家でもマスクを着用し、他の人に感染がひろがらないようにしま しょう（目安：最終の感染の可能性があった日から14日）。

⑤ トイレ後・食事前の手洗いを徹底しましょう。 新型コロナウイルス感染症では、**下痢もよくある症状**です。